

仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	Sapient3 Ultra RESILIAを用いたTAVR後のPVLによる血管内溶血の予測因子についての研究
当院の診療科・研究責任者	循環器内科・多田憲生
他の研究機関	なし
本研究の目的	術後弁周囲逆流（PVL）による溶血は繰り返す輸血や心不全を来し、予後不良因子として報告されている。Sapient3 Ultra RESILIAを用いたカテーテル的大動脈弁植え込術（TAVR）において、術後弁周囲逆流（PVL）による溶血は報告されているが予測因子はまだ判明していない。本研究は当院において、Sapient3 Ultra RESILIAを用いてTAVRを施行した患者を後ろ向きに解析し、溶血の予測因子の判明を目的とする。
研究期間	2024年11月から2025年5月まで
研究の方法（対象となる方）	当院でSapient3 Ultra RESILIAを用いてTAVRを施行した患者
研究の方法（利用する情報）	後ろ向きコホート研究にて、溶血群と非溶血群の2群に分け、それぞれの患者背景、術中oversizing ratioや使用した人工弁のサイズ、術後人工弁の血行動態、PVLの程度およびPVL血流の流速などを比較する。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。 (利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。) 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-728-8000 【担当者】 膝 云
備考	